

令和元年度 第1回 尼崎市地域包括支援センター運営部会 会議録

1 日 時 令和元年7月1日（月）午後2時00分～午後4時00分

2 場 所 尼崎市役所 議会棟3階 西会議室

3 開 会

（1）委員紹介

4 議 題

（1）平成30年度 各地域包括支援センターの業務実績報告等について

① 被保険者数・認定者数

② 相談状況及び活動実績報告

（2）平成30年度 各地域包括支援センターの決算及び令和元年度事業計画について

（3）平成30年度 地域ケア会議の報告について

（4）気づき支援型地域ケア会議のモデル実施状況について

（5）平成30年度 各地域包括支援センター運営の自己評価及び行政評価の結果について

（6）その他事項

5 出席委員等

（1）出席委員 奥西部会長、梅谷委員、北村（佳）委員、北村（浩）委員、小林委員、高松委員、
南條委員、西委員、西川委員、前川委員、松本委員、横田委員

（2）欠席委員 朝田委員、佐瀬委員、鮫島委員、菅原委員、並河委員

（3）市 職 員 福祉部長、包括支援担当課長、事務局職員7名

（4）傍 聴 者 6名

6 議事等

事務局	地域包括支援センター運営部会 開会の挨拶 出席状況の報告及び資料の説明 委員・出席者の紹介
部会長	それでは、議題に沿って進めたいと思います。
事務局	(1)「平成 30 年度 各地域包括支援センターの業務実績報告等について」説明 ① 被保険者数・認定者数 ② 相談状況及び活動実績報告
委員	被保険者数や認定者数に関しては、比較ができないので、今後、近隣市や同規模人口の市の情報も併せて出していただきたいと思います。
事務局	ご意見ありがとうございます。
委員	生活支援サポーターの稼働状況は、どのような状況ですか？
事務局	研修受講者数は、約 300 人。受講者数は、順調に伸びているが、実際に就労に結び付いているのは、約 30 人程度です。多くのサポーターは、一人での訪問に戸惑いがあることなどが課題になっており、これらの課題への対応については、引き続き検討していきたいと思っています。
委員	人員補充について、中央西と中央東地区の第一号被保険者数が増えれば、人員増加となると思いますが、地域包括支援センター（以下センターという）へ増員の連絡は、タイムリーにできるのでしょうか？
事務局	分かり次第、即時に連絡するようにしていきます。受託法人との連絡の機会は、定期的に設けております。
部会長	他に質問がなければ、この議題については、これで終了します。
事務局	(2)「平成 30 年度 各地域包括支援センターの決算及び令和元年度事業計画について」説明
部会長	事業計画書の内容については、全センターで共有するような場はあるのでしょうか？
事務局	現在行っている「尼崎市地域包括支援センター運営部会」の場を共有する場としてますが、今後、年 2 回の「運営法人与行政との協議連絡会議」などでも報告していく

	予定です。
部会長	別途、各センターの取り組みの情報共有の場も必要であると思います。
委員	7～8 か月欠員が出ているセンターに関しては、今後対策が必要であるので、欠員理由等の情報収集や分析も必要といえます。また、優秀な職員の継続的な確保の為に、委託料を上げることも必要なことかと思います。
事務局	委託料については、毎年、他市のハローワーク求人情報等の情報収集をしております。今後も引き続き、法人側の意見も踏まえながら方針を検討していく予定です。
委員	各センターが困ることを、全市的な課題と捉え、取り組んでいく体制も今後必要といえます。また、認知症に係る困難事例に対し、対応検討する会議体をつくる必要があるのではないのでしょうか？また、複合的な課題に対し柔軟に対応できるよう、市役所内部の連携構築も必要であると思います。
事務局	地域ケア（課題解決型）個別ケア会議を活用しながら、困難事例の解決を図っています。以前、セルフネグレクトの事案があつて、初期集中支援チームのオレンジエールなど、多職種と連携しながら、対応する事例もありました。
委員	個別の地域ケア会議を他のセンターと共有できる仕組みも必要だと思います。
委員	あまつなぎでは、現在、医療・介護連携協議会において、困りごとの対応検討などを行っています。
部会長	包括支援体制の構築は、全国的に重要視されていることなので、意見があつたことは、検討していただきたいと思います。
部会長	他に質問がなければ、この議題については、これで終了します。
事務局	（3）「平成30年度 地域ケア会議の報告について」説明
委員	昨年度に比べ、参加者人数が減っているが、どのような理由があるのでしょうか？また、困難事例は、どの程度ありますか？
事務局	気づき支援型地域ケア会議を始めたことにより、月1回行っていた会議を課題解決型の地域ケア会議と分けている為、参加人数が半分になっています。次に、対応困難ケースの実際の件数については、把握はしていませんが、地区によっては、他にもたくさんあるような地区もあれば、あまりない地区もあり、様々な状況です。
委員	ケアマネジャーが地域ケア（課題解決型）個別ケア会議において、事例を出すのを躊躇されていると聞いています。恐らく、事例を出すことに負担を感じているケアマ

	ネジャーがいるのではないのでしょうか。もしかしたら、出しても解決することがないから出すのを躊躇しているのかもしれませんが。
部会長	開催してよかったという事例はないのでしょうか？
委員	地域の会長の方にも出席してもらったことがありましたが、開催前は、会議に出席することに不安があったそうですが、開催後に地域の会長に感想を聞いてみると、参加してよかったと言われていました。
委員	地域ケア（課題解決型）個別ケア会議の開催理由の部分において、支援者が困難を感じているケースが、55 件とあるが、55 件の内訳の内容をわかるようにしてもらいたいのではないのでしょうか。今後の対策や政策形成について、ヒントとなると思います。
部会長	今まで開催した中で、どのような傾向があるのでしょうか？
事務局	認知症に関する事例が多いです。開催理由の分類に関しては、厚生労働省への報告分類に合っています。今後、内訳がわかるよう検討していきたいと思います。
部会長	他に質問がなければ、この議題については、これで終了します。
事務局	（４）「気づき支援型地域ケア会議のモデル実施状況について」説明
委員	どのようなサービスに繋がっていったのかが気になります。要支援１から要介護１は大きな差があるので、どのようなチェックをされるのでしょうか？きめ細やかな支援を考えてもらいたいです。
事務局	色々なケースがあるが、ケースごとに細やかな提案や意見がなされています。
委員	ハンドブックについて、介護保険の紹介の部分のところに、『共生』の理念を入れていく必要があると思います。
委員	会議の流れの大枠はできていると思うが、分析も引き続きしていく必要があると思います。
部会長	気づき支援型地域ケア会議と課題解決型地域ケア会議の回数について、話題になっていたが、これについて、事務局から何かないでしょうか。
事務局	現在、国は、自立支援型の会議を推進しています。尼崎市では、回数に関しては、他市町村と比較しても、特に低いわけではありません。そのため、インセンティブ交付金も上位の市町村になっています。来年度も、本年度と同程度の回数で、実施していくつもりです。

部会長	気づき支援型地域ケア会議は、浸透するまでは、回数自体は、いまのままだが良いのではと、個人的には思います。
委員	気づき支援型地域ケア会議によって、要支援 1～2 の方に適切な支援ができていけば、急激に介護度が上がることを防ぐことにもなるのではないかと思います。
部会長	他に質問がなければ、この議題については、これで終了します。
事務局	(5)「平成 30 年度 各地域包括支援センター運営の自己評価及び行政評価の結果について」説明
委員	要支援のプランを委託するケアマネジャーが少ないことや、地域での会議時に使える会場が無いとあるが、これはどういうことでしょうか？全市的にこういう課題があるのですか？一部地域だけの課題なのでしょうか？
事務局	会場については、出来る限り無料で使えるような、公共施設の会議室等を探し案内しています。要支援 1～2 の委託の関係については、来年度に向けて、引き続き検討対応している状況です。
部会長	他に質問などがなければ、この議題については、これで終了します。
部会長	その他、報告したい事項があればお願いします。
委員	ケアマネジャー協会では、災害時の防災について、検討している。次年度、各センターのケアマネジャー交流会や研修などで、防災についての内容を入れていただきたいです。
事務局	災害時の対応に関しては、ケアマネジャーなど関係者間で、利用者の災害時の避難場所の共通認識を持つことが大切といえます。ケアマネジャー協会と協力していきながら、ケアマネジャー交流会等で、徐々に周知していきたいと思っています。
委員	センターと民生委員との関わりが薄いので、関わりが深められるようにしていく必要があります。今後、互いの情報を共有することも必要なかもしれません。
委員	県の薬剤師会では、要支援になる前の健康生活フェアを地域の市民向けに、全 6 回行っています。毎回 60～70 名程度の市民の方が来られており、尼崎市では、健康に関する意識が高い市民の方が多いです。今後も、要支援になる前のお手伝いをしていきたいと思っています。 気づき支援型地域ケア会議にも参画させてもらっていますが、お薬をたくさん保持している方が多いので、そういった方への支援もしていくよう多職種連携を意識して

	いきたいです。
委員	見守りについて、大庄北地区のセンターがよく動いてもらって助かったことがありました。センターが調整役として、対応していただけるだけでもとても助かっています。
委員	気づき支援型地域ケア会議において、実際に専門職の方もアドバイスと一緒にしてくれることを検討していると記載されていたが、そのことについては、いいことだと思います。実際アドバイスを頂いても、ケアマネジャーだけで本人へアドバイスしても難しいことが多いので、現場に来てもらえると助かります。
事務局	フレイル予防市民講演会を7月26日（金）に開催を予定しています。
部会長	本日の議題については、これで終了いたします。事務局から連絡事項をお願いします。
委員	次回、第2回の運営部会は、11月11日（月）14：00～16：00に開催したいと考えております。宜しくお願いします。
部会長	これもちまして、令和元年度 第1回地域包括支援センター運営部会を閉会したいと思います。本日はどうもありがとうございました。